聖学院大学人文学部子ども教育学科

AH連続講座（各水曜日10:40-12:10）

共通テーマ：子どもの育ちを応援する

1 トロンボーンから知る音楽の世界

トロンボーンはかつて教会において特別な楽器として尊重され、神聖な音楽を演奏しましたが、現代では幅広い聴衆に親しまれています。トロンボーンの楽器としての魅力、また聴く人に与える力について、演奏を通じてお届けします。

山田裕治先生

オルガン伴奏：久保田翠

６月１１日（水）
会場：チャペル

2 特別支援学校における学習領域「自立活動」について

世界保健機関（WHO）が提唱するICFの考え方をもとにした自立活動に関する実践研究が進められている中、あらためて障害に対する理解と支援の在り方について、理論と実技を交えて考える授業を行います。

野村春文先生

７月９日（水）
会場：４４０１

3 異文化の中で生活するということ

私たちが海外に出て異文化の中で新しい生活をすると視野が大きく広がります。海外では価値の方向性が日本とは違うのです。今回は児童学海外研修で「異」とどう向き合い、異文化理解をどう深めるかについてお話しします。

小川隆夫先生

１０月１日（水）
会場：４４０１

4 オルガンの表現を育む ～一つ一つの音を一人一人の子どもに照らしながら～

パイプオルガンを弾くためにはその個性を理解することが基本です。その上に表現として求められる音を作りだしていきます。そのプロセスは保育と通じるものがあります。このことを演奏から考えてみたいと思います。

相川徳孝先生

１月２１日（水）
会場：チャペル